

さっぽろ
市議団ニュース

<第1回定例会>

2018年3月8日

No. 181

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221/fax 218-5124

滑走路延長の必要性にじませる（丘珠空港の利活用に関する検討会議） 情報は極めて不十分、市民をミスリードするな！

村上ひとし議員が質問

日本共産党の村上ひとし議員は6日、総合交通調査特別委員会で、道と札幌市がまとめた「丘珠空港の利活用に関する検討会議」の報告について質問しました。同「報告書」は、滑走路の延伸や運用時間の延長など丘珠空港の利用拡大を示唆する内容となっています。

村上議員は、「現在の滑走路では様々な制約があることがのべられ、300m延伸し1800mとした場合、事業費は100～400億円、2000m化した場合は250～550億円と試算されているが、そもそも滑走路延伸については1996年に新千歳空港との役割分担や生活環境の悪化を懸念する住民の反対で不可能とされた経緯があり、滑走路延伸ありきでは住民の不信感は募る」と指摘。そのうえで、「報告書では道内へのインバウンド（訪日外国人旅行）客は平成23年から4倍増加し、うち4割が市内に宿泊しているというが丘珠空港利用者はどの程度か」「新幹線の札幌延伸の影響が記述されているが、延伸された場合、丘珠・函館間の便への影響をどう分析しているのか」とただしました。

田中空港担当部長は、丘珠空港利用者について「正確な数字は把握していない」、新幹線の札幌延伸の影響は「非常に大きいと考えている」とのべました。

村上議員は、「インバウンド客は4倍というが丘珠の利用客は把握していない。丘珠空港の需要が伸びると予想を立てているが、最も利用客が多い札幌、函館便が新幹線の札幌延伸で減少が懸念されるという矛盾を抱えている」と指摘し、「報告書は滑走路延伸の必要性をにじませているが情報は極めて不十分、市民をミスリードしないよう正確な情報と分析を行うべきだ」と強調しました。

子どものいる世帯への差し押さえは止めよ！ ——給与の差し押さえ件数が10倍にも

池田由美議員が質問

日本共産党の池田由美議員は7日、予算特別委員会で市税の差し押さえについて質問しました。

池田議員は、「納税義務者のなかで収入300万円以下が39.3%を占め、夫婦と子ども1人世帯だと可処分所得は月額20万3千円で、同世帯の生活保護費よりも低い」と指摘。一方、「差し押さえは2007年6,340件が2016年では12,713件と倍増し、給与の差し押さえは155件から1,550件と10倍にもなっている」とのべ、「差し押さえが急増しているのはなぜか」「最初からいくら払えるのかといわれる」などの声を聞くが、納付相談にどう応対しているのか」とただしました。

毛利財政部長は、「職員の滞納整理のスキルが格段に向上している」「納税者の世帯状況や収入状況などを把握していくことが大切、そういう姿勢であたっている」とのべました。

池田議員は、「収納率の目標を持って成績が優秀な係や班を表彰しているが、成績を競わせるやり方が差し押さえを増やすことにつながっており、倍増している実態がそれを物語っている」「家計の支払いで子どもの医療費を優先せざるを得ないことは起こる。子どものいる世帯への給与の差し押さえは見直すべき」と求めました。